事例No.	2449
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	日置市高山地区公民館

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口 ・人材確保・育成

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

地域資源と人材をフル活用～全員参加で地域づくり～

出典

平成29年度優良事例表彰一覧

日置市高山地区公民館（ひおきしたかやまちくこうみんかん）

総務大臣賞

地域資源と人材をフル活用 ～全員参加で地域づくり～



高山ふるさと秋まつりは、集落ごとに、豊かな地域資源を活かした手づくり体験等を実施。都市住民との交流を通して農村集落の活性化に繋がっている。（野下集落・かずら工房）

事例の概要



尾木場の山菜狩りでは都市住民が家族で参加。多くの高山地区ファンを生み出している。

高山地区は日置市街地から約１０キロ離れた標高３００メートル程の中山間地域で、先人が開墾した棚田を中心に稲作や畜産、イチゴ、山菜等の生産が行われている。平成４年に地区の象徴であった高山小学校が閉校となり、その施設が研修交流拠点となったことを契機に、地域資源を活用した都市交流を中心に活動を展開してきたが、高い高齢化率を踏まえ、生活に根差した身の丈の自治の展開が課題となっていた。

そのような中、地域自治会を補完し、協働による地域づくりを推進するため、高山地区公民館を設立。地区を構成していた６つの自治会を統合した高山自治会、地区全住民加入のＮＰＯとの緊密な連携体制を構築した。年間を通して棚田での米づくり体験や高山ふるさと秋祭り等、地域資源を総動員した体験交流イベントを実施し、交流人口の増を図っている。また、買物に不自由している高齢者のために、地区公民館から「移動販売車」に燃料費相当分を負担し、地域内を巡回する仕組みを構築している。さらに、ＮＰＯ法人がんばろう高山が、高い技術を持つ高齢者の自家野菜と物産館の出荷者不足解消をつなぎ、生産物の共同出荷を実現、希望者による買い物ツアー等、買い物支援も手掛けている。

評価のポイント

４町が合併して誕生した日置市では、平成 18 年から各小学校区単位に地域づくりの拠点として地区公民館を設置することを決め、19 年４月に旧高山小学校区（小学校は平成４年閉校）６集落をまとめて、高山地区公民館が発足した。さらに、市の交付金で購入したワゴン型公用車の活用をきっかけに、25 年６月に、住民全員が会員となる「NPO 法人がんばろう高山」を設立、活動の中心となっている。

NPO 法人設立後は、「高山再生プロジェクト会議」を設置、住民アンケート、アドバイザーを交えたワークショップ、視察研修等で一致団結の機運を高め、移動販売車への燃料費補助、公用車による高齢者の買い物ツアー（週１）、農家からの少量の農産物の直売センターへの出荷など、人とモノの輸送体制が確立された。

６集落の協働は、すでに閉校舎を交流センターとして整備した 20 年前に始まったと考えられるが、これは、他人を迎えるための話し合いが新しい協働を生みやすいことを示す。高山地区では、それまでの集落間協働の下地の上に、２年の議論を経て、統合自治会の確立、さらにそれを支える実働部隊である NPO 法人の設立へと、すばらしい展開が生まれた。

農産物の出荷や買い物ツアーからの帰着の場面では、明るい応対が印象的であり、幅広い交流ときちんとした話し合いが、高齢の住民を成長させていると理解できた。山間の過疎地域としては稀有なことと高く評価したい。イベントの世話や運転の日当、農家の出荷額等は少額とはいえ、明確なルールのもとにお金が循環する仕組みが確立していることも、地域の明るさを増していることと思われる。今後農産物の出荷での手数料の設定、空き家での直売所・カフェの開設を予定し、小さいながらも６次産業化を目指していることもすなおに期待できる。



高齢者の多くは、自家野菜を作っているが、消費しきれずにいた。地区全体で集荷、出荷することにより、現金収入も増え、生きがいづくりと出荷者支援に繋がっている。



棚田の用水路では在来種のクロメダカが生息している。メダカを育むきれいな水で育つ米作りを通して、都市住民の農業・農村への理解と残すべき農村の次世代への継承の意識を生みだしている。



地区住民全員加入によるＮＰＯ法人「がんばろう高山」の移送車両により、街中への買い物や温泉ツアー等を実施。地元のおばちゃんたちもイキイキ元気。

DATA ｜ 鹿児島県 日置市（ひおきし）

団体名▶日置市高山地区公民館
所在地▶〒899-2311　鹿児島県日置市東市来町養母15819-4
連絡先▶TEL：099-274-9856　FAX：099-274-9856
E-mail:takayama-com@city.hioki.kagoshima.jp

【交通のご案内】
自動車▶南九州自動車道伊集院インターチェンジより約30分
鉄　道▶JR東市来駅から約20分
飛行機▶鹿児島空港から車で約１時間



▶国勢調査人口（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
日置市	67,756	52,022	53,391	52,411	50,822	49,249
(旧)東市来町	19,056	15,047	13,623	13,082	12,492	11,704

▶人口増減率（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
日置市	-27.3	-5.3	-7.8	-6.0	-3.1
(旧)東市来町	-38.6	-22.2	-14.1	-10.5	-6.3

▶高齢者・若年者比率（H27 年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
日置市	31.9	12.4
(旧)東市来町	37.3	10.6